

用して経営の推進を図る農業情報センター運営協議会負担金について、それぞれ予算を計上いたしました。

畜産関係では、富良野広域串内草地組合負担金、乳肉用牛放牧促進事業、畜産振興助成事業などに必要な予算を計上いたしました。

林業の振興

次に林業の振興であります。森林は、国土の保全、水資源のかん養、保健休養の場の提供などに加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、人々の生活基盤をなす社会資本として、極めて重要な役割を果しておりますが、これまで森林を守り育ててきた林業は、依然として木材価格の低迷により、山づくりに対する意欲や関心が減退し、森林の持つ多面的機能の保全が困難な状況となりつつあります。

本町は、総面積の約90%を占める広大な森林を有しており、適正な町有林の管理と民有林の育成など、所要の施策を進める中で、森林環境の整備充実に努めてまいります。

町有林については、除間伐

事業・下刈り事業など、緑資源機構の事業と合せて実施する町有林整備事業、カラマツ防風保安林を列状伐採し、樹下植栽を実施する町有林列状伐採委託事業などを、本年度も実施してまいります。

民有林の振興については、森林所有者による森林施業の実施に必要な地域活動を支援するため、昨年度に引き続き森林整備地域活動交付金事業を取り組み、対象森林面積の拡大を図るとともに、除間伐促進事業・作業路新設事業など、民有林育成事業を継続して取り組んでまいります。

国は、京都議定書の正式発効を受けて、温暖化対策に向けた二酸化炭素削減を積極的に進めようとしており、この

対策の一つとして木質バイオマスエネルギーの事業化を推進しております。

本町としては、森林資源の有効活用を図り、次世代を担う資源循環型の本質バイオマスエネルギーの利活用に向けて、本年度、経済産業省の「バイオマス等未活用エネルギー事業調査バイオマスタウン枠」での採択を受けた中で検討を進めてまいります。

地域住民の「いこいの場」整備を引き続き実施するため、下山水辺の築校整備事業については、四阿および広場緑化費用などを計上し整備を進めるとともに、林道では、落合の狩勝線を低コスト型で整備してまいります。

第4次総合計画「まほらの



昨年「まほらの水」の水質検査を実施した落合内の沢源流部

郷プロジェクト」まほらの森事業の中で計画しております「まほらの水」の調査・開発を進めるため、昨年度より実施しております水質検査について、新たな場所として本年度は北落合地区（王子の森）伏流水の水質検査を行い、今後の利活用検討のための調査を継続して取り組んでまいります。

道代行事業としては、治山・植栽・下刈りなど、落合および幾寅地区町民いこいの森」の森林整備と東鹿越地区の湖畔緑林道開設工事が継続事業として予定されております。

商工鉱業の振興

次に商工鉱業の振興であります。町内の商工業を取り巻く環境は、購買力の減少や消費の多様化に伴う大型店出店による町外への購買力流出など、個人消費に関する町内の環境は依然として厳しい状況が続いており、更には公共事業の削減や個人住宅建設などの民間投資の抑止傾向も加わり、この厳しい環境が長期化しているものと考えるところであります。

商工業の振興については、商工業者の経済活動と商工会の取り組み、協力が重要であり、これに対しては、商工会の育成強化を図るため商工振興事業の予算を計上し、経営指導はもとより地域振興事業についても具体的な取り組みと提案を求め、更には商工会組織並びに事務局体制など全般にわたり意見交換を進める中で、諸課題への対応を検討してまいります。

資金制度については、町融資および利子補給事業に伴う予算を計上したほか、本年3月31日で失効されます経営安定特別資金貸付制度については、利用状況および必要性を考えまして、3年間の延長継続を図るための条例案を本議会に提出いたしております。

また、事業拡大や後継者育成など、地域における起業化の促進を図るため、商工業振興起業促進事業を引き続き取り組んでまいります。

鉱業振興については、鉱業振興会への支援とともに、輸送車両の大型化に配慮し、本年度も町道幾寅鹿越線の整備を進めてまいります。

観光の振興

観光振興については、観光客の入込み数がここ数年横ばい傾向にありますが、富良野美瑛広域観光推進協議会において、韓国・台湾の観光客誘致を積極的に取り組んでおり、連携を図るとともに、インターネットによる宣伝活動や町内観光企業などと連携を図りながら、本町を訪れる観光客の増加に努めてまいります。

また、観光協会については、事務局体制の見直しを含めて、観光協会活動の強化を図るべく、体制の確立を図ってまいります。

イベントについては、本年度から「氷点下まつり」が廃止となり、「かなやま湖々水まつり」については、開催費用の町負担額を減額して、予算を計上いたしました。

観光施設は、従前同様、キャンプ場やオートキャンプ場、スキー場などの管理運営について、経費節減とともに利用者の拡大など、適正な管理運営に努めてまいります。

振興公社については、平成3年設立以来、公益性と採算性の両面を追求する中で公共施設の有効利用により、地域の振興、産業の振興、雇用の創出を図るべく町政施策の下で事業を展開し、まちづくりの上で大きな役割を果していると考えております。

農産物処理加工事業については、ここ数年安定的な運営を続けておりますが、ログハウス村・保養センターなどの観光宿泊部門については、大変厳しい運営となっております。これまで振興公社では、経営の安定を図るため、施設管理職員の削減など、人員コストの削減に努めるとともに、経営



大勢の家族連れて賑わうオートキャンプ場

現況に即した様々な経費削減に努めてまいりました。

また、利用者拡大についても、サービスの創意工夫や営業活動の強化に取り組んでおりますが、取り巻く経済環境や競争の激化などにより、依然として厳しい環境を迎えているところであります。

更に、町の財政状況や法改正による従来の管理委託制度に代る指定管理者制度により、「公の施設」の管理の仕組みが変わる状況を見通す中で、両施設の運営については、今後様々な検討をしていかなければならないものと考えるところであります。

本年度、国の地域振興アドバイザー派遣制度の採択を受けた中で、振興公社の経営などについて助言・提言をいただき検討を進めてまいります。

ログハウスの宿泊優待券は、継続して取り組みますが、利用者の助成金を2,500円から2,000円に減額いたします。

平成9年度に掘削いたしました温泉井戸については、現在も湧出能力が低いことから、湯量回復までしばらく観測を

続けてまいります。

ニジマスなどふ化放流養殖事業については、内水面漁業による観光振興として取り組んでいるところでありますが、本年度から更に経費節減を図りながら、野生生物の希少種として生物学的価値の高い「イトウ」のふ化養殖事業を主体として本格的に取り組むため、ワカサギは放卵により、ニジマスについては、単年度養殖により町内利用の拡大に

努めるとともに、「イトウ」のふ化養殖技術の確立に努めながら管理運営体制を検討してまいります。

また、本町の河川は「イトウ」の研究フィールドとして、大学などの研究者が多数訪れており、連携を模索しながら、「イトウ」の保護の必要性などを検討し、町内児童生徒の環境教育の場とするなど、本事業を幅広く有効活用するよう努めてまいります。

あんしんの南富良野

健やかな福祉のまち

保健医療の充実

次に、少子・高齢化時代を迎え、住民一人ひとりが自立しながら互いに支えあい、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、生涯を通じた健康づくりをめざします。「あんしんの南富良野の1健やかな福祉のまちづくり」であります。

保健・医療事業では、平成15年度に策定しました住民の健康づくり計画「健やかみなみふらの」に基づき、生活習慣病の予防と各種保健事業を

実施し、生涯にわたる健康づくりを引き続き推進してまいります。更に、昨年度より健康づくり事業の一環として実施しておりますヘルシアアツプ教室をより一層充実した内容で継続してまいります。

国民健康保険事業については、ここ数年の医療費の増加により、国の高医療市町村に指定されましたので、今後は国・道の指導を受け、医療費抑制に向けた計画を策定し、保健事業や趣旨普及などの各種事業を推進してまいります。